

2000 年度第 7 回定例研究発表会

日時：2001 年 01 月 15 日 於：9-177

演題：仏教と心理療法

——新たなる視点——

発表者：吉村 昇洋(M1)

演題：経典に見る四天王

発表者：小師 順子(D1)

演題：真字『正法眼蔵』の基礎的研究

発表者：池上 光洋(D2)

2000 年度第 6 回定例研究発表会

日時：2000 年 12 月 15 日 於：禅研 303

演題：観の付随煩惱

——vipassanaa-upakkilesa について——

発表者：関 寛子(M1)

演題：多民族都市の社会変動と宗教

——東京における韓国宗教の展開——

発表者：大澤 広嗣(M1)

2000 年度第 5 回定例研究発表会

日時：2000 年 11 月 29 日 於：9-177

演題：天台典籍の入蔵史の研究

発表者：呉 鴻燕(研究生)

演題：『ミリンダ王の問い』にみる臨終のおしえ

発表者：平子 泰弘(D2)

2000 年度第 4 回定例研究発表会

日時：2000 年 10 月 26 日 於：禅研 303

演題：『正法眼蔵聞書抄』の解釈について

——『如来全身聞書抄』から——

発表者：西尾 勝彦(D2)

演題：笑える公案

発表者：菅原 研州(M2)

2001 年度第 3 回定例研究発表会

日時：2000年09月28日 於：禅研303

演題：小値賀（オヂカ）島のニューエイジ・それから
——新たなる職能者の活躍とその特質——
発表者：加藤 之晴(研究生)

演題：仏駄跋陀羅の基本思想について
——羅什との討論から『達摩多羅禅経』まで——
発表者：岡本 一平(D3)

2000年度第2回定例研究発表会

日時：2000年06月29日 於：9-401

演題：『釈難扶宗記』管窺
発表者：林 鳴宇(D2)

演題：「癒し」としてのシャーマン儀礼
——台北市萬華区の事例を中心に——
発表者：岡部 雅明(研究生)

2000年度第1回定例研究発表会

日時：2000年05月26日 於：1-405

演題：vissajjaniya”と“avissajjaniya”

——Nettipakarana の Sasanapatthana 章の一節より——

発表者：古山 健一(D3)

演題：釈尊の入滅に見る臨終のあり方

発表者：舘盛 寛行(D3)